

InfoDrainage に切り替えるメリット

InfoDrainage を雨水モデリングのソリューションとしておすすめする 9 つの理由

01: InfoDrainage と Civil 3D の間でデータをラウンドトリップ

ボタンをクリックするだけで、水理学的計算結果を土木用地設計に移行したり、用地データを排水モデルに取り込んだりすることができます。

02: 信頼できるツールで現地の基準に準拠

承認当局によって広く受け入れられているさまざまな雨水計算方法 (SWMM エンジンなど) を使用できます。

03: SCS 曲線番号を自動計算

土地利用ポリゴンを使用して、複数の下位集水域の正確な SCS 曲線番号を一度に生成できます。

04: SuDS と FHWA のカルバートで設計を拡張

自然の排水機能を使用して持続可能性を向上させ、FHWA のガイドラインに従ってカルバートの動作を解析できます。

05: 要求の厳しいプロジェクトをスピードダウンすることなく処理

大規模で複雑な集水域での拡張セッションなど、最も負荷の大きいワークフローでもパフォーマンスを維持できます。

06: ニーズに合わせてレポートをカスタマイズ

何時間も手作業でデータを入力することなく、仕様を満たす明確で整理されたレポートを即座に生成し、承認を得ることができます。

07: 単一のプラットフォームからプロジェクトを提出

複数の雨水ツールを寄せ集めて使う必要はありません。1 つのモデルで中断なく作業できるため、少ない手順で迅速に提出できます。

08: プロジェクト予算をさらに活用

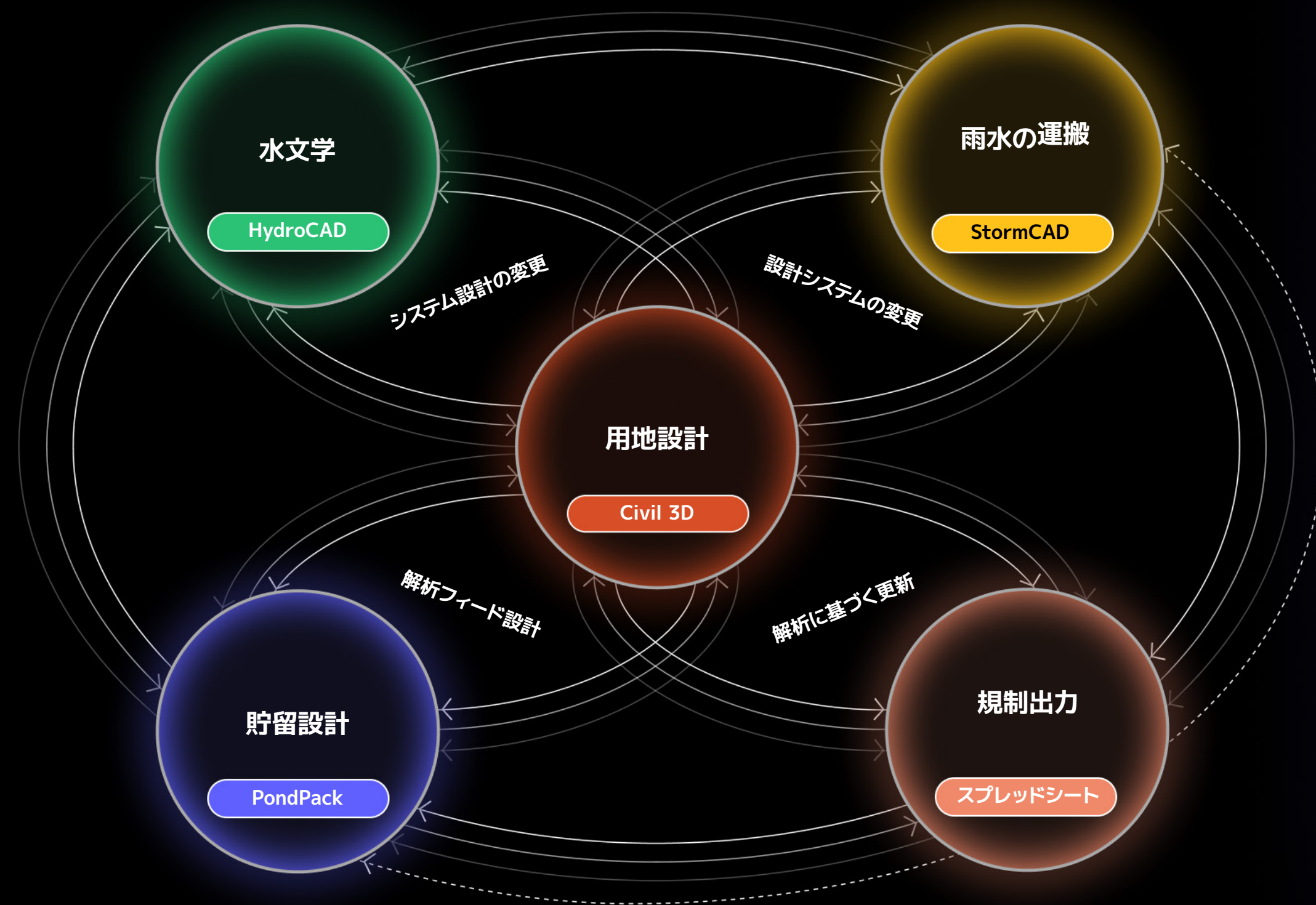
InfoDrainage は、同じ価格帯の他のツールよりも多くの機能を備えているため、投資の価値を最大化できます。

09: チーム メンバーを円滑にオンボーディング

オートデスクのエキスパートによる無償のトレーニングとサポートを利用して、チームに InfoDrainage の知識を浸透させることができます。

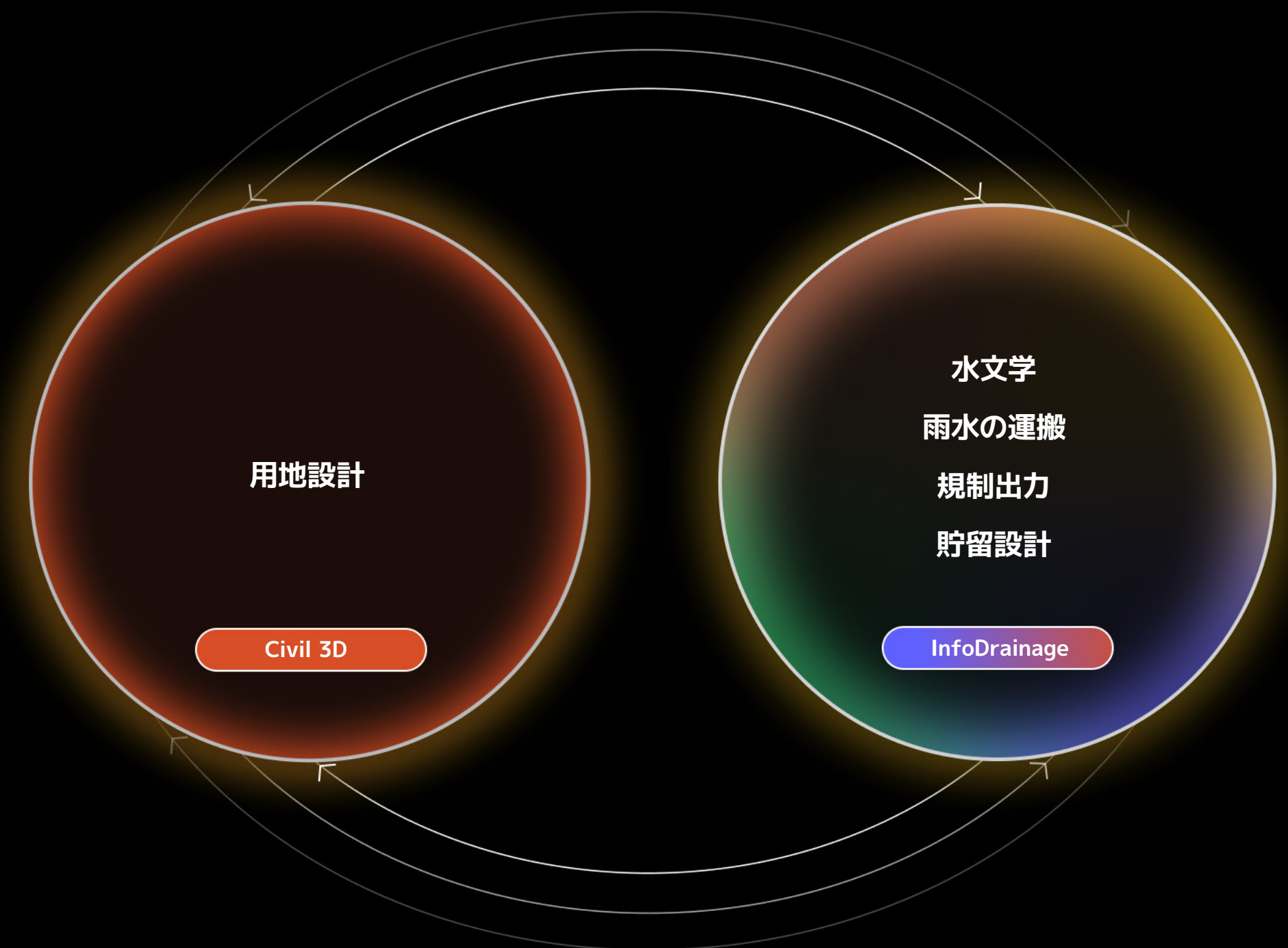
他のソフトウェアの場合

さまざまなツールを切り替えて使用するため、排水ワークフローが途切れ、**エラー、遅延、フラストレーション**につながります。



InfoDrainage の場合

InfoDrainage を使用すると、ソフトウェアの切り替えに費やす時間が短縮され、排水に関する課題の解決に割ける時間が増えるため、**効率、品質、結果**が改善されます。



InfoDrainage に切り替えた VHB 社より

”

パイプ ネットワークや集水域の構築など、既に CAD で行った作業はすべて InfoDrainage から直接モデルに取り込むことができ、時間を大幅に節約できます。

– VHB 社 プロジェクト マネージャー、Jess Ewing 氏

[事例を見る](#)

すぐに始める

InfoDrainage の 30 日間無償体験版で、実際の動作をお確かめください。
または、オートデスクのエキスパートにご相談の上、チーム向けの無償の InfoDrainage トレーニング セッションをご検討ください。

[InfoDrainage の無償体験版を試す](#)

[エキスパートへのお問い合わせ](#)

